

「経営支援」を通じて「真に頼られる保証協会」に！

～ コロナ融資の返済が始まるまでの3年間は企業経営の基盤強化が強く求められる重要な期間



中小企業を取り巻く環境

- 少子高齢化が進行
→ マーケットの縮小
- 低い生産性・デジタル化の遅れ
→ 経営基盤の弱体化

休廃業の増加
(600者/年減少)

さらに！
コロナの影響により
あらゆる業種で

- 著しい売上の減少
- コロナ融資により一時的に資金繰りは支えられているが売上の回復は不透明

休廃業のさらなる増加が懸念されると
返済が始まると

対 策 (業務運営方針)

拡	創業支援	新規創業を増加させるとともに、事業承継をサポートし休廃業を抑え、中小企業者の健全な新陳代謝を図る
新	経営改善支援	プレ405事業を活用し、外部支援機関と連携した伴走支援を行う
拡	再生支援	リスケ先のモニタリングを強化するとともに、改善計画未策定先への支援を拡大
拡	補助金事業	経営課題を抱えている中小企業者への専門家派遣事業において、1件当たりの支援時間を大幅に拡充
新	効果測定	経営改善計画策定の2年前から策定後3年間まで各種主要指標により効果を測定
新	中小企業のデジタル化を支援	アフターコロナを見据えた企業経営を進めるため、中小企業者のデジタル化への取り組みを支援
新	より効果的な経営支援	タブレットやリモート会議を積極的に活用するとともに、McSSやローカルベンチマーク等経営診断ツールを効果的に使用
新	協会業務の効率化	ネットワークの仮想化や、紙データから電子データへの移行を検討
新	人財育成	中小企業の立場に立って経営支援ができるようスキルアップを図るため、体系的な人財育成プログラムを構築
拡	組織強化	職員自身が一層能力を発揮できる人事制度へ、見直しの検討を始める (コンサル会社と協働スタート)

アクションプランに基づく計画的な取り組み

関係機関との強力なネットワーク

金融機関

商工団体

税理士会

よろず支援拠点

事業引継ぎ支援センター